

Library News



大山崎中学校図書館

令和6年7月

選書会を実施しました。

6月19日、図書委員、生徒会本部役員、教職員とで選書会に参加し、学校で購入する本を選びました。その中から予算と内容を吟味しつつ、80冊の本を発注しました。本はラベルやバーコードが貼られ、さらにブックーという保護シートがされてから学校に送られてきます。全部届くのは9月上旬ごろになるようです。楽しみです。



夏休み特別貸出し・臨時開館

以下の日程で夏休みの貸出、開館を行います。ご利用お待ちしております。

一人5冊貸出

7/8(月)

～29(月)

夏休み開館日

7/29(月)

10～14時



新着本から

『バスを降りたら』 眞島 めいり

バス通学をする奈鶴と律。毎朝顔をあわせるものの、会話をすることもなく、互いの名前さえ知りません。奈鶴は律が行きたくても受からなかった高校に通う女子で律は別の高校に通う男子なのです。律は憧れだった高校の制服を着ている奈鶴が気に入り、奈鶴もまたあることがきっかけで律を気にしているのですが…。いつ二人が話すことができるのか、ちょっとドキドキしながら読んでしまいます。

『俺たちの箱根駅伝上、下』 池井戸 潤

エンタメ小説界のトップを行く池井戸潤の最新作。今度は箱根駅伝！予選で負けたものの、個人成績によって出場がなかった大学選抜チームの面々が主人公。大学生のスポーツ青春ものかと思えば、そこに駅伝を中継するテレビ局のドロドロのリーマンたちの駆け引きをぶちこんでくるとは、さすが、池井戸先生。上下巻ではあるものの全く飽きさせません。

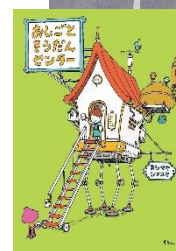
『おしごとそうだんセンター』 ヨシタケ シンスケ

地球に落ちこめてきた宇宙人。生きていくためには仕事をみつけなさいって言われてやってきたのがおしごとそうだんセンター。そこのお姉さんにいろんな仕事を紹介してもらおうのですが…。右側に仕事の絵があって、めくると何の仕事か、わかるしかけになっています。時々はさまれる宇宙人とお姉さんとの会話が実は深くて心に響きます。

『優等生は探偵に向かない』

『卒業生には向かない真実』 ホリー・ジャクソン

2022年に購入以来、好評だった『自由研究には向かない殺人』の続編が2冊届きました。イギリスの高校生ピップが身の回りに起きた不可解な出来事を調査し粘り強く推理を重ねて真実にたどりつくのですが、高校生らしい、軽いタッチの語り口でありながら、どれもどんでん返しの衝撃作で、上質な本格ミステリといえる作品です。一作目を読んだ方はもちろん、まだの方もぜひ夏休みに素晴らしいドキドキ体験をどうぞ。



司書のひとりごと 昨日の本棚から 『宙わたる教室』 伊予原 新

東京都立東新宿高校定時制。そこには様々な人が通ってきます。最初に登場するのは勉強ができないため、中学から転落人生をたどった20代の岳人。どこかミステリアスな担任教師の藤竹に、自分がディスクレシアであることを指摘され、岳人は知識欲に目覚めます。藤竹と共に科学部の活動にのめりこみ、岳人はやがて個性豊かな仲間を得て、人生を大きく変えていきます。作者は物理学の元研究者だけあって、科学部で行う実験も奇想天外。しかもこの小説はフィクションながらも元となる実話があるというので驚きです。読後感もさわやかな胸アツ小説です。

